

2011年3月期 決算説明会

トヨタ自動車株式会社
2011年5月11日

将来予測・インサイダー取引について

本資料には、当社(連結子会社を含む)の見通し、目標、計画、戦略などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績または展開と大きく異なる可能性があります。なお、上記の不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- ◆ 日本、北アメリカ、ヨーロッパ、アジアおよびトヨタが営業活動を行っているその他の国の自動車市場に影響を与える経済情勢、市場の需要ならびにそれらにおける競争的環境
- ◆ 為替相場の変動、特に日本円、米ドル、ユーロ、豪ドル、カナダドルおよびイギリス・ポンドの相場変動
- ◆ 金融市場における資金調達環境の変動
- ◆ 経営陣が設定したレベル、またはタイミングどおりに生産効率の実現と設備投資を実施するトヨタの能力
- ◆ トヨタが営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更で、特にリコール等改善措置を含む安全性、貿易、環境保全、自動車排出ガス、燃費効率の面などにおいてトヨタの自動車事業に影響を与えるもの、または将来の訴訟やその他の法的手続きを含めたトヨタのその他の営業活動に影響を与える法律、規制及び政府政策の変更など
- ◆ トヨタが営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ
- ◆ タイムリーに顧客のニーズに対応した新商品を開発し、それらが市場で受け入れられるようにするトヨタの能力
- ◆ ブランド・イメージの毀損
- ◆ トヨタが材料、部品、資材などを調達し、自社製品を製造、流通、販売する主な市場における、燃料供給の不足、交通機能のマヒ、ストライキ、作業の中断、または労働力確保が中断されたり、困難である状況
- ◆ 生産および販売面への影響を含む、東日本大震災による様々な影響

以上の不確実性および変動要素全般に関する追加情報については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書(フォーム20-F)をご参照ください。

将来予測・インサイダー取引について

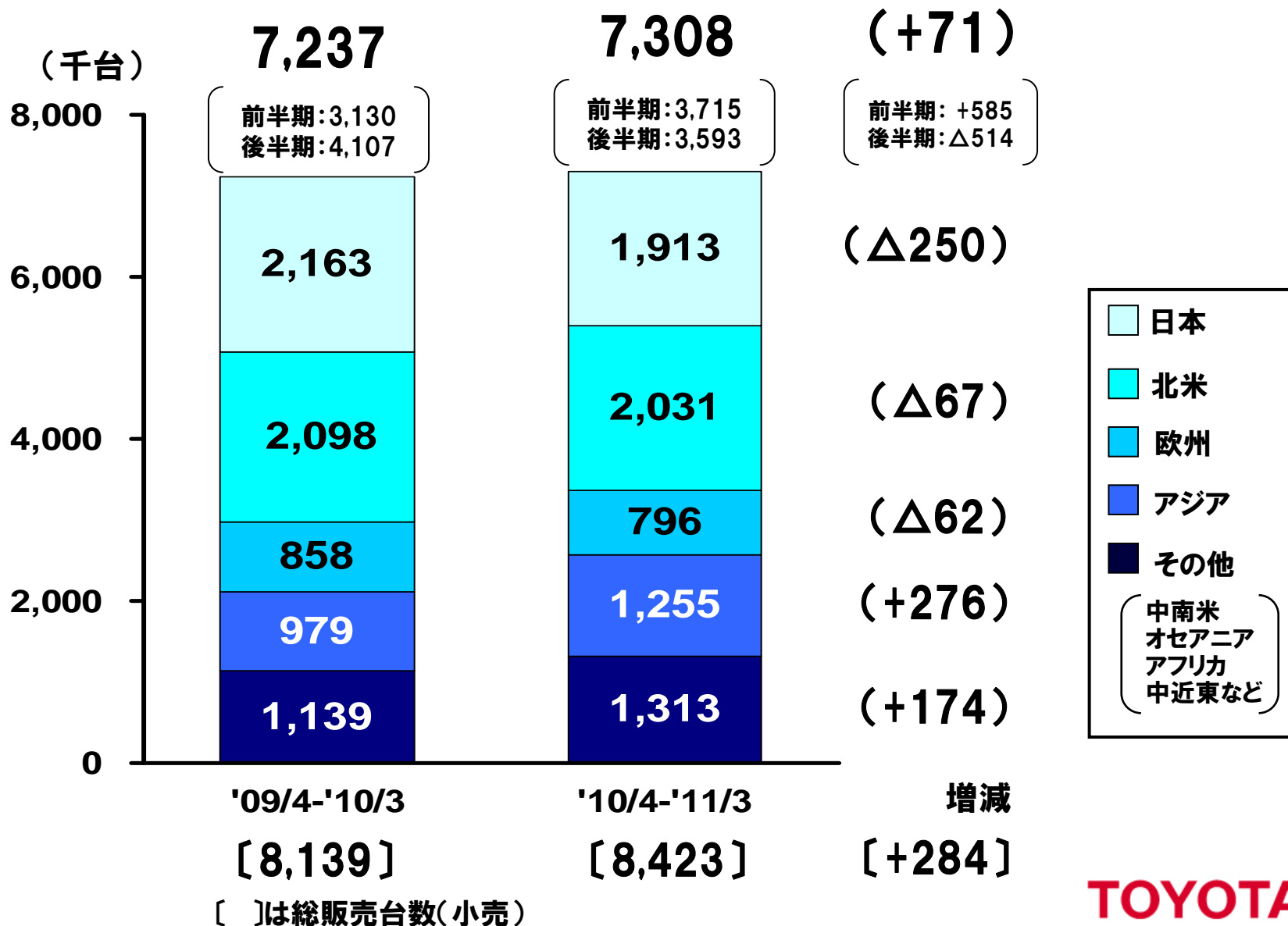
インサイダー取引に関するご注意:

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家(第一次情報受領者)は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています(金融商品取引法166条)。同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または、証券取引所に通知しかつ内閣府令で定める電磁的方法(TDnetの適時開示情報閲覧サービス)により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。

2011年3月期

【実績】

連結販売台数



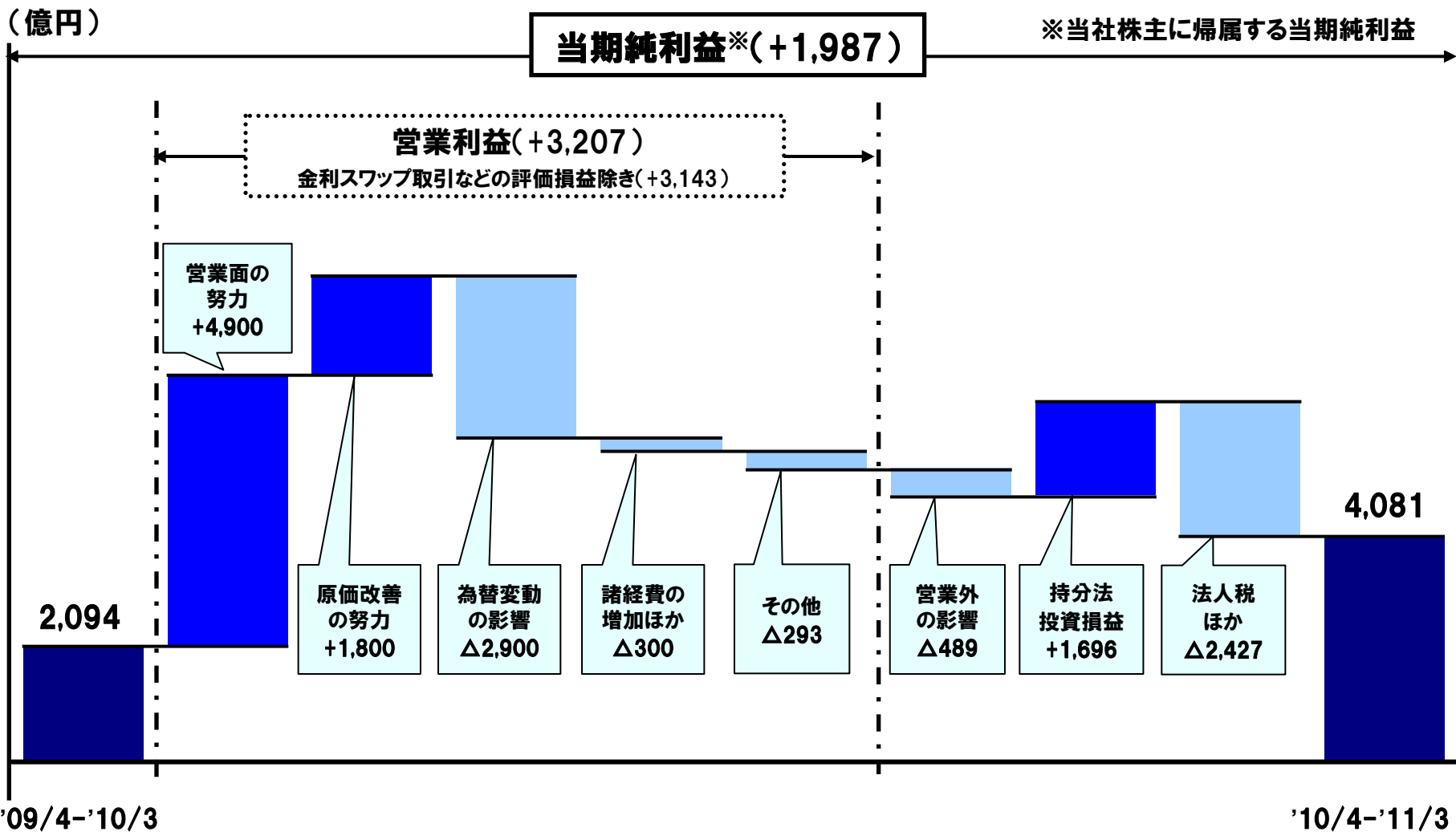
連結決算要約

(単位:億円)

		当期	前期	増減	
		('10/4-'11/3)	('09/4-'10/3)		増減率
売上高		189,936	189,509	427	0.2%
営業利益		4,682	1,475	3,207	217.4%
税金等調整前 当期純利益		5,632	2,914	2,718	93.3%
当期純利益*		4,081	2,094	1,987	94.9%
為替レート	ドル	86円	93円	7円の円高	
	ユーロ	113円	131円	18円の円高	

*当社株主に帰属する当期純利益

連結当期純利益※ 増減要因



<諸経費の増加ほか 内訳>

労務費の増加.....△400
研究開発費の増加.....△250

減価償却費および

設備関係費の減少.....+1,200
その他.....△850

<その他 内訳>

金利スワップ取引などの評価損益.....+64
海外子会社の営業利益換算差ほか.....△357

'11年3月期 営業利益増減要因:連結決算 (vs 3Q決算時点見通し)

(単位:億円)

		営業利益
3Q決算時点見通し('10/4-'11/3)		5,500
増益要因	営業面の努力	+350
	うち 金融事業	△50
	為替変動の影響	+200
	原価改善の努力	+100
	小計	+650
減益要因	諸経費の増加ほか	△368
	小計	△368
合計		+282
通期実績('10/4-'11/3) 震災影響除き		5,782
東日本大震災の影響		△1,100
通期実績('10/4-'11/3)		4,682

所在地別営業利益

【連結販売台数】(千台) (※1 日本は輸出台数を含む)
 (※2 北米のみ、金利スワップ取引などの評価損益の影響を除く)

(単位:億円)

《北米》	前期	当期
金利スワップ取引などの評価損益を除いた営業利益	541	3,119
金利スワップ取引などの評価損益	313	276
営業利益	854	3,395

3,807※1
3,611※1

2,098
2,031

858
796

979
1,255

1,139
1,313

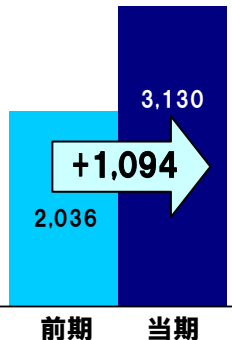
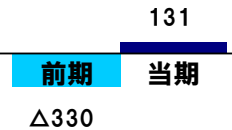
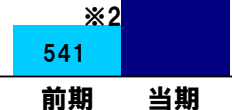
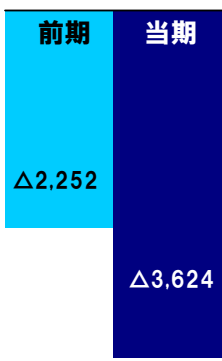
△1,372

+2,578

+461

+1,094

+446



(単位:億円)

《日本》

《北米》

《欧州》

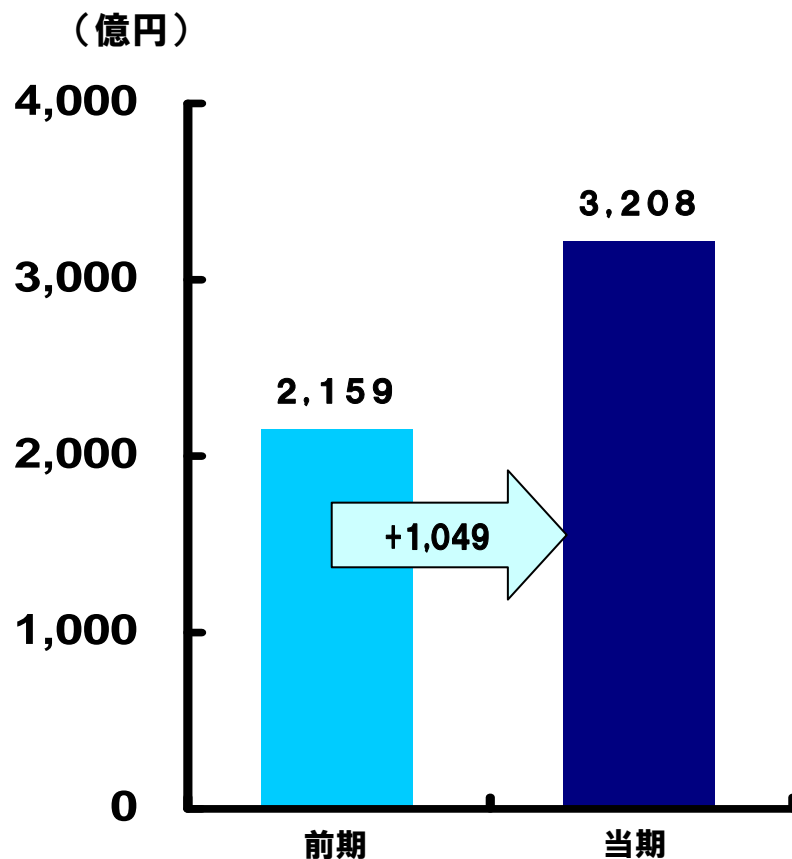
《アジア》

《中南米・オセアニア・アフリカ地域》

金融セグメント営業利益

金利スワップ取引などの
評価損益の影響を除く

10

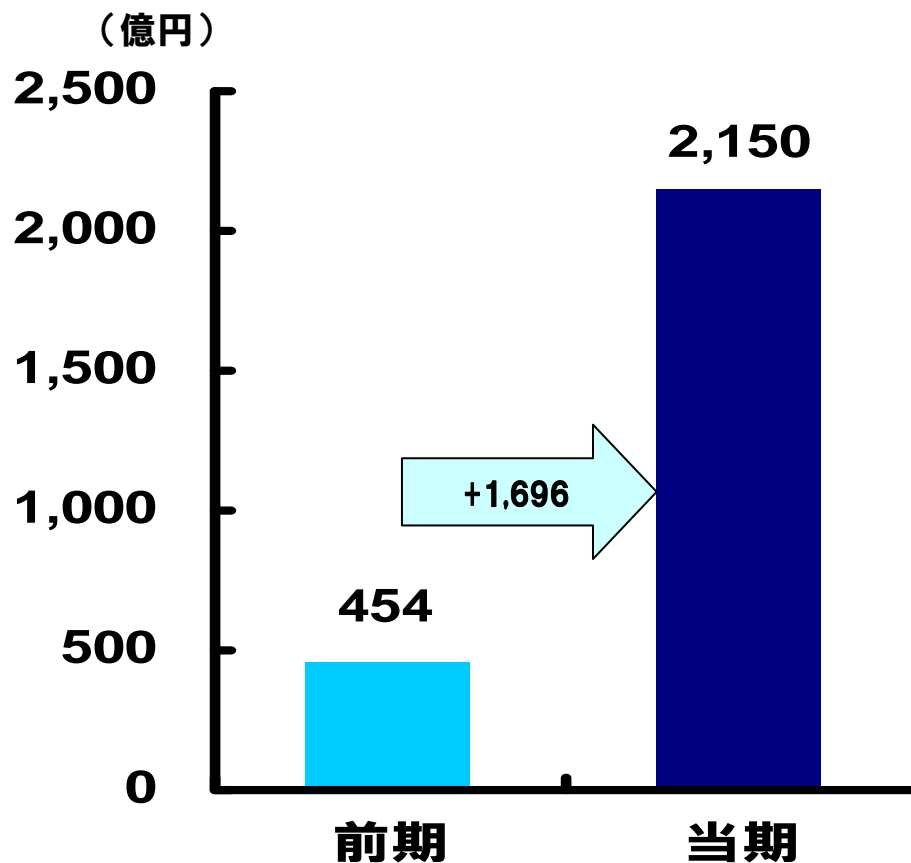


(単位:億円)

	前期	当期
金利スワップ取引などの 評価損益を除いた営業利益	2,159	3,208
金利スワップ取引などの 評価損益	310	374
営業利益	2,469	3,582

・主に、米国における貸倒・残価コストの減少や、融資残高の増加等により、過去最高益

持分法投資損益



- ・国内および中国の持分法適用会社損益の増加により、増益
- ・前期において、一部の持分法適用会社株式に対する評価損を計上

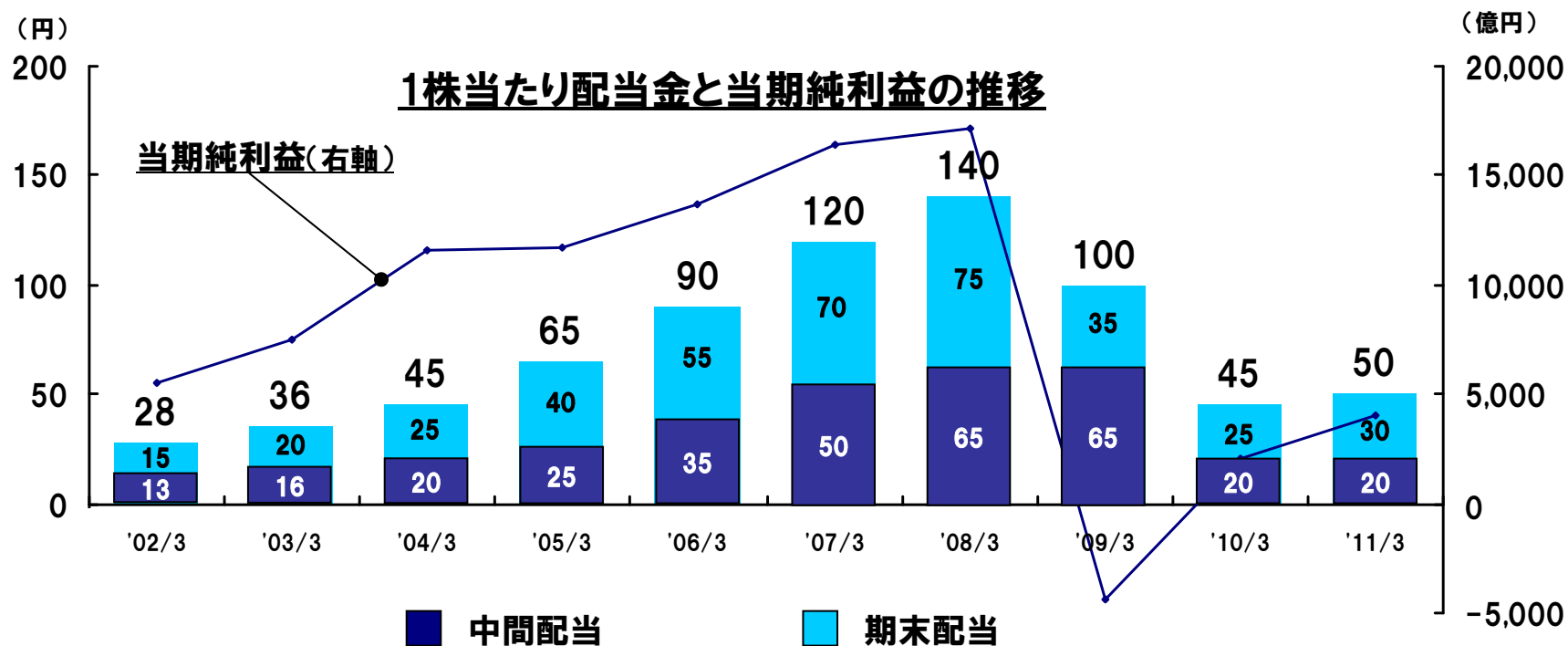
单独決算要約(日本基準)

12

(単位:億円)

	当期 ('10/4-'11/3)	前期 ('09/4-'10/3)	増減	
				増減率
売上高	82,428	85,978	△ 3,550	△4.1%
営業利益	△ 4,809	△ 3,280	△ 1,529	-
経常利益	△ 470	△ 771	301	-
当期純利益	527	261	266	101.5%

配当金(年間)：1株につき50円
(配当金総額：1,568億円)



2011年3月期 決算説明会

トヨタ自動車株式会社
2011年5月11日